

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-513694(P2005-513694A)
 【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報2005-018
 【出願番号】特願2003-553560(P2003-553560)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 7/253 (2006.01)

G 1 1 B 7/26 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 4 1 D

G 1 1 B 7/24 5 2 6 G

G 1 1 B 7/24 5 2 6 J

G 1 1 B 7/24 5 2 6 K

G 1 1 B 7/24 5 2 6 L

G 1 1 B 7/24 5 2 6 Q

G 1 1 B 7/24 5 2 6 R

G 1 1 B 7/24 5 2 6 T

G 1 1 B 7/24 5 2 6 U

G 1 1 B 7/24 5 3 1 Z

G 1 1 B 7/24 5 4 1 G

G 1 1 B 7/26 5 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月17日(2005.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光ディスクの製造方法であって、

着色剤を第一プラスチック基板の全重量に基づいて0.01重量%以上含有し、第一プラスチック基板のUV接着インデックスを0.5以上に制御した、第一プラスチック基板を形成する段階、

第一プラスチック基板と第二基板の間にデータ層を配置する段階、

接着層を用いて第一プラスチック基板を第二プラスチック基板に接着する段階、及び接着層を硬化する段階

を含んでなる光ディスクの製造方法。

【請求項2】

第一プラスチック基板を透過するレーザ読み出し波長での光透過率が60%~94%未満である、請求項1記載の光ディスクの製造方法。

【請求項3】

UV接着インデックスが70以下である、請求項1記載の光ディスクの製造方法。

【請求項4】

さらに、着色剤をプラスチック材料の全重量に基づいて0.01重量%以上含有し、かつ

第一プラスチック基板と同じ着色剤濃度を有するプラスチック材料をプラスチック樹脂と着色剤から形成し、該プラスチック材料から第一プラスチック基板を形成する段階を含む、請求項 1 記載の光ディスクの製造方法。

【請求項 5】

さらに、第一プラスチック基板とは着色剤濃度の異なるプラスチック樹脂から第一プラスチック基板を形成する段階を含む、請求項 1 記載の光ディスクの製造方法。

【請求項 6】

さらに、接着層中の光開始剤の吸光度を測定する段階、並びに着色剤濃度、着色剤種類及びこれらのパラメータを 1 以上含む組合せからなる群から選択される着色剤のパラメータを UV 接着インデックスが 0.05 以上になるように調節する段階を含む、請求項 1 記載の光ディスクの製造方法。

【請求項 7】

光ディスクの製造方法であって、

プラスチック樹脂と着色剤から、着色剤をプラスチック材料の全重量に基づいて 0.01 重量% 以上含有するプラスチック材料を形成する段階、

前記プラスチック材料から第一プラスチック基板を形成する段階であって、第一プラスチック基板の UV 接着インデックスが 0.5 以上であり、プラスチック材料の着色剤濃度が第一プラスチック基板と同じである段階、

第一プラスチック基板と第二基板の間にデータ層を配置する段階、

接着層を用いて第一プラスチック基板を第二プラスチック基板に接着する段階、及び接着層を硬化する段階

を含んでなる光ディスクの製造方法。

【請求項 8】

2 枚以上のプラスチック基板 (1) を備える光ディスクであって、プラスチック基板の間に接着層とデータ層が配置され、1 枚以上の基板 (1) が着色剤を読み出し面基板の全重量に基づいて 0.01 重量% 以上含む読み出し面基板であり、読み出し面基板の UV 接着インデックスが 0.5 以上である、光ディスク。

【請求項 9】

前記プラスチックが非晶質熱可塑性樹脂、結晶質熱可塑性樹脂、半結晶質熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、並びにこれらのプラスチックを 1 種以上含むブレンド、コポリマー、反応生成物及び複合材料からなる群から選択される、請求項 8 記載の光ディスク。

【請求項 10】

前記着色剤がアントラキノン、ペリレン、ペリノン、インダントロン、キナクリドン、キサントン、オキサジン、チオキサントン、インジゴイド、チオインジゴイド、ナフタルイミド、シアニン、キサントン、メチン、ラクトン、クマリン、ビスベンゾキサゾリルチオフェン (BBOT)、ナフタレンテトラカルボン酸誘導体、モノアゾ顔料、ジスアゾ顔料、トリアリールメタン、アミノケトン、ビス(スチリル)ピフェニル誘導体、並びにこれらの着色剤を 1 種以上含む反応生成物及びブレンドからなる群から選択される、請求項 8 記載の光ディスク。